

台湾のデジタルサービス イノベーションモデルの発展動向

邱仁鈞(JD Chiou)

インツミット株式会社 代表取締役社長

【要旨】

近年、ビッグデータ、マシンラーニング、ディープラーニングなどの技術に牽引されて、人工知能とそのアプリケーションサービスの新たな波が急速な発展を遂げており、企業のスマート化移行の動向の中で無視できない重要な鍵となっている。コロナ後は、人工知能により様々なタイプの産業の日常的な業務内容を効果的に学習することで、フィンテック、スマート・マニュファクチャリング、スマートヘルスケア、スマート交通などの分野で、よりスマートな生活構築を支援することができる。

今回の講演では、インツミットの邱仁鈞博士が、自身の長年にわたる研究開発の経験と専門的な角度から、いかに人工知能(AI)技術を活かし企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援するかについて紹介する。また人工知能(AI)でESGの効果を促進し、食品製造業、ハイテク産業、電力・エネルギー産業、政府機関などのインテリジェントサービスを含む、企業の持続可能な発展における将来動向の実現法についても説明する。

インツミットは長年にわたり人工知能技術の研究開発に深く関わっており、企業が様々なマシンラーニングや知覚コンピューティングなどの技術を運用して、内外の様々な情報フローを企業の知恵と融合できるよう支援している。そのため、各種企業専用のインテリジェントなロボットアプリケーションを開発し、顧客企業に活用してもらうことで競争優位を生み出し、ディープラーニングの運用で意思決定の質を向上

させ、製品とサービスを改善して長期的な競争優位を確立している。市場開拓面では、インツミットは台湾国内市場だけでなく海外市場への拡大も継続しており、近年ではさらに日本の販売パートナーとの提携関係を確立し、多くの日本法人顧客への展開を積極的に進めている。2017年にはガートナー社の Cool Vendors in Analytics, Greater China、そして Microsoft Azure 2017~2020 の Top Growth ISV のパートナー企業に選出された。